

# 高額療養費支給申請書 記入例

被保険者  
健康保険 被扶養者 高額療養費 支給申請書  
世帯合算 被保険者(申請者)記入用

①	記号 9 8 7      6 5 4 3 2 1	④	
②	氏名 ケンポ タロウ 健保 太郎	生年月日 <input checked="" type="checkbox"/> 昭和    年 月 日 <input type="checkbox"/> 平成    年 月 日 <input type="checkbox"/> 令和    年 月 日	
③	住所 〒 110 - 0000      東京 墨田区〇〇 電話番号 TEL 090 ( 1234 ) 〇〇〇〇      1-2-3 □□マンション×××号		

申請金額の算定を事業主へ委任します。(委任する場合は◎※事業主へ委任する場合、下記口座欄の記入は不要です。)

金融機関 名称	〇〇〇〇      △△△△	口座番号 1 2 3 4 5 6 7
口座名義 (カタカナ)	ケンポ タロウ	
ゆうちょ 記号	1      0	口座番号 (2桁)

※通帳の記載がある方のみご記入ください

「申請者記入用」は2ページに続きます。))

【添付書類】  
療養のあった月の属する年度(月)から翌年の(月)分の区市町村税が非課税の場合は被保険者の非課税証明書

被保険者用欄	支給金額	円	診療月	入院	点	歯科	点
	高額療養費	円	年 月	外来	点	調剤	点
	一部負担還元金 高額療養費付加金	円	高額回数		回目	計	点

受付日付印

社会保険労務士の  
提出代行署名記載欄

記入もれや誤りが多いところ (特にご注意ください。)

- ① 記号・番号は「マイナポータル」「資格情報のお知らせ」「資格確認書(保険証)」に記載されています。
- ② 家族(被扶養者)が受診した場合でも、被保険者の氏名などの情報をご記入ください。  
被保険者が亡くなられて、相続人の方が申請される場合は、申請される方の氏名をご記入ください。  
(住所、振込先口座も同様です。)
- ③ 振込先を事業主へ委任する場合は、チェックしてください。
- ④ ①の被保険者等記号・番号を記入した場合、マイナンバーの記入は不要です。

\* ご記入いただいた内容を訂正する場合は、二重線で抹消し、正しい内容をご記入ください。

# 高額療養費支給申請書 記入例

被保険者  
健康保険 被扶養者 高額療養費 支給申請書  
世帯合算

1 2  
被保険者(申請者)記入用

被保険者氏名 **健保 太郎**

5	5 月	○ 年 ○ 月	[左記の18ヶ月について、受診者ごと(医療機関、薬局、入院・通院・自費)にご記入ください。]		
6	2 受診者	2	1. 被保険者 2. 家族(被扶養者)	2	1. 被保険者 2. 家族(被扶養者)
	氏名	健保 花子	健保 花子		1. 被保険者 2. 家族(被扶養者)
3	家族の場合は その方の	氏名	健保 花子	健保 花子	
	生年月日	年 月 日	○ ○ ○	○ ○ ○	
7	3 療養を受けた 医療機関・薬局の	名称	△△総合病院	〇〇薬局	
	所在地	所在地	東京都△△区〇〇×××	東京都△△区〇〇×××	
4	4 傷病名	傷病名	関節リウマチ	関節リウマチ	
	療養を受けた期間	療養を受けた期間	〇〇1002 31	〇〇1002 31	
8	入院通院の別	入院通院の別	2 1. 入院 2. 通院・その他	2 1. 入院 2. 通院・その他	
	支払った額のうち、(保険 料分の金額(自己負担額)) 自己負担額が不明の場合は 支払った総額	支払った額のうち、(保険 料分の金額(自己負担額)) 自己負担額が不明の場合は 支払った総額	141,800 円	7,400 円	
9	6 国の公的医療から、医療費 の減額を受けていますか	減額を受けた 制度の名称	2 1. はい 2. いいえ	2 1. はい 2. いいえ	
	はいの場合	減額を受けた 制度の名称	1. 全額助成 2. 一部自己負担あり	1. 全額助成 2. 一部自己負担あり	

1の18ヶ月以前1年間に、高額療養費に該当する月が3か月以上ある場合、直近3か月の診療月をご記入ください。

7 診療月 1 年 月 2 年 月 3 年 月

被保険者本人が住民税非課税者である場合は、自己負担総額が軽減されます。  
マイナンバーを活用して課税証明書の添付を省略するために、以下に該当する郵便番号を記入してください。

10 診療月が  
1月～7月の場合 「診療月の出生1月1日時点」の住民票住所の郵便番号 〒 [ ] [ ] [ ] - [ ] [ ] [ ]

診療月が  
8月～12月の場合 「診療月の出生1月1日時点」の住民票住所の郵便番号 〒 [ ] [ ] [ ] - [ ] [ ] [ ]

記入もれや誤りが多いところ(特にご注意ください。)

- 5 月(1日から末日)を単位としてご記入ください。月をまたいだり、複数月を記入して申請はできません。
- 6 受診者ごとに、医療機関、医科、歯科、入院、通院、薬局に分けてご記入ください。
- 7 打撲、骨折、捻挫等の外傷性の場合は、別途「負傷原因届」の提出が必要となります。傷病の原因が第三者の行為による場合は、別途「第三者行為による傷病届」の提出が必要となります。詳しくは、医療施設課にお問い合わせください。
- 8 保険診療分の金額をご記入ください。差額ベッド代などの保険外負担額や入院時の食事負担額などは含めません。
- 9 受診された方が「乳幼児」「ひとり親家庭」などで、市区町村から医療費助成を受けている場合は、その制度名をご記入ください。また、医療機関の窓口での自己負担がない場合は、「全額助成」に、自己負担がある場合は、「一部自己負担あり」に○を付けてください。
- 10 被保険者本人が非課税者の場合は、この欄に郵便番号をご記入いただくか、「(非)課税証明書」の交付を受け原本を添付してください。  
注1：診療された方が扶養家族であっても、被保険者の「(非)課税証明書」が必要です。  
注2：診療を受けた月が7月までは「前年度分」、8月以降は「当年度分」となります。

\* ご記入いただいた内容を訂正する場合は、二重線で抹消し、正しい内容をご記入ください。